

六年

新米を 一口食べれば 皆昼顔

くり拾い たぐさ拾って おみやげに

弟が イノコでも「とびはねる

イカグリを さわるごいたい 針干本

はじめの「コスモスちよっこ おひっこし

今日の朝 ねごもあめゆく 冬近く

赤い羽根 みんなの気持ち 届くかな

渡の鳥 あつやけに 飛んで行く

朝糞だ 毛布をかけて また寝よう

しぐ柿を 干しておいしい 柿になる

家族・大人の部

役目終え 軒下に休む 案山子かな

新巻の「おいまこいて 父帰る

豊作の 喜び語る 出羽訛り

秋空の 下に響くよ 歓声が

一球に 泣いて笑って 親子して

秋夜長 読書になんて 即寝眼

いわし雲 さつせいの会を 見降ろして

とつかない 松茸にまある 味しめて

菊薫る 父去りの年 むらぎをよめる

露天風呂 落葉と友と 昔語る

衣更え 去年の服が きつくなの

渡邊 理紗子

大泉 梨奈

佐藤 拓也

鈴木 美紅

沖津 奈都美

森谷 美咲

大沼 春子

田宮 欣樹

今井 修平

阿部 正伸

阿部 美空 母

阿部 美空 母

阿部 美空 母

奈良崎昇隆 母

奈良崎昇隆 母

菅野 辰興 母

菅野 辰興 母

夢野 継木

夢野 継木

夢野 継木

夢野 継木

前でお知らせした大谷昭男さんが歌った
「南部小創立記念式の歌」は、次の通りです。

所は高屋 気はまろく
潤い尽きぬ 血沼や
万代うたう 敷島の
道にも 通う 里の祖
動かぬ 礎 うち建てし
祝う 今日こそ たのしけれ



目について熱く語る 鈴木一作先生

10月10日は 目の愛護デー

10月5日(水)に、本校眼科校医の鈴木一作先生から、目についてのお話をお聞きました。

- 大切な目なのに、全国で小・中学生の 500 人位目が見えなくなっている。
- 近くばかりみていると遠くにピントが合わずに目が悪くなる。
- ゲームをやりすぎない。
- 夜早く寝て、目をいっぱい休ませる。
- 目を守るための基本的な事をしっかり身につける。



2年生 南部の舞「徳内ばやし」

学習発表会・南部発見展



1年生 音楽劇「大きなかぶ」

平成 17 年度南部小・学習発表会が、10 月 26 日に行われ、約 1 か月間練習してきた成果を発揮しました。創作劇、舞踊、合唱・合奏、組み体操などバラエティにとんだ内容で、学年に応じたすばらしいできばえの発表でした。

子どもたちは、多くの人の前で堂々と発表することによって、やり遂げた満足感を持ち、大きな自信が育ったはずです。その自信をこれからの生活に生かしてほしいと思います。

また、「南部発見展」(南部地区公民館との共催)で、南部地区在住の方々の書・絵画・写真・ちぎり絵・押し絵・川柳・ひょうたん細工・和服着付け・ワケアザシメント等々が展示されました。優れた作品を鑑賞して、いっそう感性豊かな子どもたちに育ってくれればと願っています